愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児と環境		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本をふまえ、保育内容領域「環境」のねらい及び内容を理解する。幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した、保育を構想する方法の基礎を身に付ける。また、視覚教材やICT学習によって、領域「環境」において幼児が経験していく内容、他領域との関連、幼稚園教育における評価の意義、保育実践の動向や現代的課題等を理解して、保育構想に取り組む力を習得する。当該科目では、領域「環境」の指導に関連する、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	写真、映像などの視聴覚教材や遊びや生活の事例、幼児が近隣を散歩する行動や遊びの場で幼児が興味を持つことや発見する出来事等を活用し、学生がイメージしやすい資料の内容を提示する。学生は、自然や多様な保育の情報や施設に関心を持ち、適時に示すテキストの内容を参考に、課題に対して自分の考えをまとめてプレゼンテーションをする。他者の意見を受けて整理しまとめる等、授業中の講義において、理解ができた内容や振り返りレポートを自分の言葉で作成できる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション ・幼児を取り巻く環境と幼児の発達	・幼児の発達における環境の諸側面（物的、人的、社会的、安全等）の重要性が説明できる。	□
第2回	季節による生活や自然の変化 ・四季を感じる保育の環境とその計画	幼児期の体験を想い出して ・季節や自然の変化等に関する興味・関心は何だったか	□
第3回	乳幼児の身近な環境 ・生き物や植物に親しむ	「能動性、好奇心、探究心」を用い、原体験等から自然環境との「出会い方」「かかわり方」を追求する	□
第4回	幼児を取り巻く標識・文字の環境 ・標識・文字の興味・関心と幼児の関わり方	乳幼児の興味・関心と標識・文字等の関わりを説明できる	□
第5回	領域「環境」の経験と小学校のつながり	幼児期の数量・図形との出会い ・幼児の興味・関心、理解の発達と大人のかかわり方	□
第6回	知識基盤社会と幼児を取り巻く環境の現代課題と幼児の発達 ・領域「環境」に関わる視聴覚情報機器	知識基盤社会及び持続可能な開発のための教育（ESD）と幼児を取り巻く環境の現代課題について説明できる	□
第7回	幼稚園教育要領とは何か ・幼児期の学びと保育内容「環境」の「ねらい」「内容」「内容の取り扱い」	幼稚園の基本などの専門性に基づき援助・指導をする ・援助・指導（案）の具体	□
第8回	豊かな教育環境の創造と「教材研究」 ・指導計画「教材研究」工夫の意味 ・「物的・空間的環境構成」「幼児の活動の姿」「援助」のあり方	領域「環境」の学問的基盤や幼児教育に関わる専門性ある援助・指導をするにふさわしい人材(教師の役割)について、解説を手立てにして説明ができる。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□

第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

教科書や資料、幼稚園教育要領や幼稚園教育要領解説から専門のキーワードや要点を読み取り、予習課題をノートに書きこむ事前学習を（2時間）する。各コマの到達目標（課題）について、図書館の文献資料（例：図鑑、絵本、紙芝居）情報を調べ、各自の調査収集物や経験知のまとめ・整理を行う。　授業の予習課題準備を基に、仲間・グループで交流をする授業の流れをつくる。事後に（2時間）ノート整理する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各種課題については授業時間内に適宜、返却する。 授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在籍し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼稚園教諭・保育士になるための免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・「授業内試験」：授業で扱った「幼児の環境」に対する知識の習得度をもとに評価する。（70%）
・「その他」：各種課題（質・量・内容・期限）について評価する。（30%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「幼稚園教育要領解説」（平成30年　文部科学省　株フレーベル館）	978-4-577-81447-5
2	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示，文部科学省）	978-4-577-81422-2
3	新・保育内容「環境」ラーニング・ストーリーで綴る学びの記録	978-4-909378-53-8
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適時に提示する	
2	「幼稚園教育要領解説」（平成30年，文部科学省）	
3	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（平成30年，内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
4		
5		